

垂水神社隣接地にマンション計画

氏子さんや周辺住民が反対運動

7世紀はじめに創祀されたと伝えられる「垂水の滝」で有名な垂水神社に隣接する吹田市円山町

にマンション建設計画が持ち上がり、周辺住民や同社の氏子さんたちが反対運動を展開している。



マンション建設が計画されている垂水神社境内の隣接地

マンション

計画は、円山町168-79で戸建分譲『センシア吹田円山町』4戸を販売中の尼崎市の不動産販売会社が、同住宅が完売した段階で、その南側急斜面にマン

ションを建築するというもの。用地は、ボーイスカウトなどが活動場所になっている垂水神社の境内にも隣接しており、周辺

住民や同社の氏子たちは、「図面等によると景観、地域活動、遺跡、その他、地下水脈の出口に当たることに関係して『垂水の滝』への影響、工事自体が危険で、山崩れの誘発等、多くの問題がある」と反対を表明。千三地区連合自治会、豊一地区連合自治会、円山町自治会、玉の井自治会

の各会長らが代表世話人となり、垂水神社の春祭りの5月21日、22日に氏子総代一同とボーイスカウトが境内で署名活動を行って3607筆を集め、23日に吹田市役所に井上哲也市長を訪ね、提出した。

井上哲也吹田市長が初登庁

一方、5月14日に第19代吹田市長に就任した井上哲也さんは16日に初登庁。財政非常事態宣言を行い、「皆さんが信念を持って市民のためにされている仕事の責任は私市長が取るので、安心して市民の皆さんのために仕事を



初登庁の挨拶をする井上新市長

をしてほしい。市民の皆さんに輝ける希望を持って頂くために、ともに頑張らしよう」と市職員に呼びかけた。

前吹田市長阪口善雄さんが退任式

前吹田市長の阪口善雄さんが5月13日、吹田市役所ロビーで退任式を行い、「よく一市民になってといわれるが、私は一市民ではなく、これから市長のような目を持って頑張る。そして吹田の街づくり、吹田の市政を



退任式での阪口前市長

きちっと見守っていく。退任式は私の新しいスタートの第一歩にしたい」と見送りに駆けつけた人々に呼びかけた。

反対運動について千里山会にも、署名など協力の依頼を受けております。総会までに会として署名活動を行うのは困難ですが、関心をお持ちの方は事務局までご連絡下さい。資料などご提供致します。